

World TB Day, 24 March 2017

3月24日は世界結核デーです。

“Unite to End TB: Leave no one behind”

結核流行の終息のために団結しよう！：誰ひとり取り残さない。



(写真:WHO)

3月24日は世界結核デーです。細菌学者ロベルト・コッホが1882年に結核菌の発見を発表した日にちなみ、1997年の世界保健総会で制定されました。

今年のテーマは昨年に続いて、“Unite to End TB”（結核流行の終息のために団結しよう）。WHO（世界保健機関）は、“Leave no one behind”（誰ひとり取り残さない）に焦点を当て、呼びかけています。

貧しい人々、移民、難民、少数民族、高齢者、女性や子供たち、HIV感染者…。結核は、特に社会の中で取り残されている人々、感染の危険性の高い人々の中でまん延し続けています。

2015年には、世界で新たに1040万人が結核を発病し、180万人が命を落としました。結核への偏見・差別、疎外、治療を阻む壁を取り払い、結核で苦しむ人を一人として取り残すことなく、結核制圧への取り組みを進めることが求められています。

WHO 関連サイト(英語) <http://www.who.int/campaigns/tb-day/2017/en/>